



みんなの力でみんなの幸せを

s a w a r a b i

さわらび

3

March

2007

vol.407

医学
講話

脳卒中の予防

さわらび会理事長 山本孝之

特集

「みんなの力でみんなの幸せを」実現するために

—さわらび会の新しい取り組み—



脳卒中の予防

山本孝之

脳卒中を起こしやすくするのは、加齢、高血圧、糖尿病、心房細動、タバコ、肥満、アルコール乱用などです。

脳卒中予防に必要な生活の注意についてお話しします。

【高血圧】

1、高齢者の血圧

年をとるとともに、上の血圧は高くなり、下の血圧は低くなりますから、上の血圧を目標に調整します。

若い時の血圧は、朝は低いけれども徐々に高くなり、夜には下がってくるのですが、年をとると、血圧を調整する力が弱くなりますから、夜になっても血圧が下がらなかつたり、或いは、逆に下がり過ぎたり、はたまた、夜の血圧が高くなつたり、朝方急上昇したりと、血圧の動きが不規則になってきます。

脳卒中は、夜の血圧が下がり過ぎたり、夜から朝にかけて血圧が高くなる人に起こりやすいですから、脳卒中を防ぐには、血圧が朝晩どのように変化しているのかを把握して、これに正しく対応することが必要です。

2、家庭で血圧測定

ご家庭で血圧を測るには、指用や手首用ではなくて、上腕に巻付ける自動血圧計を使います。

朝起きて排尿後数分間座ってから、利き腕でない方の腕を伸ばして測かり、夜は寝る前に座って数分後に測って、その血圧を調整します。

3、血圧の調整

血圧は高ければ高いほど、脳卒中が起こりやすいけれども、でも、低ければ低いほどよいというものでもありません。

若い人なら、上の血圧が60から150の間でしたら、頭の血のめぐりはよく保たれますが、高齢者では、わずかな血圧低下でも頭の血のめぐりは悪くなりやすいですから、血圧

を下げる時には、140を目標として、なるべくゆっくりと下げてゆきます。特に、75歳以上でしたら、一と先づ、150まで下げてから、後はゆっくりと140まで下げるようにします。

【糖尿病】

年寄は空腹時の血糖値はあまり変動しませんが、食後の血糖値は、食べた物によく反応して、しばしば高くなります。そして、食後の高血糖は、血管を傷つけ、動脈硬化を増悪させて、脳卒中の発生率と死亡率を高くします。

糖尿病の方は、ご自宅で血糖計（例・メデイセイフミニ）を使って、食後2時間の血糖値を測り、その値が200以下になるように、食事を自己調整なさって下さい。

血圧の調整もやや厳しく、130を目標にします。

【心房細動】

心房細動は、心房の収縮が不規則で不十分になるために起こる不整脈でして、年をとるとともに多くなっ

てきます。

心房細動では、心房の中に血が停滞するために血の固まりができやすく、その固まりが脳へ流れて行くと、大きな動脈をふさぐことが多いので、しばしば、重篤な脳塞栓を起こします。

だから、心房の中で血が固まらないようにする薬を飲んだ方がよいのですが、その薬を飲んでいる間は、出血がひどくなりやすいから、外科や歯科を受診される時には、あらかじめ申し出て下さい。

【タバコ】

タバコは吸う数が多ければ多いほど、脳卒中にかかりやすくなります。タバコの煙には、活性酸素、一酸化炭素、タールとニコチンなどが含まれています。

活性酸素は、動脈硬化、癌、アルツハイマー病などを促進しますし、一酸化炭素は、脳と心臓を傷害し、タールは強力な発癌物質です。ニコチンは、血圧を高め、動脈硬化を促進しますが、また、脳の中で

様々な神経伝達物質を増やして、頭の働きを活発にし、記憶力を高め、気分も朗らかにします。

禁煙が難しいのは、このニコチンへの依存があるためですから、タバコの代わりに、ニコチンを含んだ貼り薬かチューインガムを使って、少しづつニコチンを減らしてゆけば、タバコをやめることができます。

【日常生活の注意】

1、食事

イ、腹八分目

適正体重(身長m×身長m×23kg)を保つ程度に。

お腹の中の脂肪は、増えるとともに脳卒中が多くなりますから、お臍のまわりは85cm以上にならないように。

夕食は必ず寝る3時間前までには食べ、食べる量も控え目に。

ロ、内臓脂肪症候群

お臍のまわりが85cm以上なら、甘いものは絶対に食べないで、調理にも砂糖は使わずに、パルススイートのような甘味料で味をつけましょう。

ビールもなるべく控え目に。

ハ、食塩1日6g以下

食塩が多いほど、血圧は高くなります。

現在の日本での平均食塩摂取量は1日12gですから、今使っている味噌や醤油の量を半分にするのを目安にしたらいでしょう。

ニ、野菜・海藻・果物はなるべく多く

これらに含まれるカリウムやマグネシウムは血圧を下げ、葉酸は脳卒中を防いでくれます。

ホ、魚・大豆・脱脂粉乳もなるべく多く

特に、魚を食べる回数が多ければ多いほど、脳卒中にかかる率が低くなります。

ヘ、霜降り肉・豚の脂身・卵黄・バターはなるべく控えて

ト、よく噛んで

よく噛むと、食欲は抑えられ、体の脂肪は分解されます。逆に、早食いは肥満のもとです。

2、運動

年をとると、自分が気付かないうちに、いくつかの病気が始まっていることが多いから、運動を始める前に、必ず、主治医に診ていただいて、その人の体にあつた運動のやり方を指導してもらおうように。

一般的には、いつでも、どこでも、ひとりでもできる運動(散歩、自転車、太極拳など)を、食後1時間半頃に、午前と午後それぞれ1回20分づつが原則です。

3、入浴

入浴は、体を清潔にするだけでなく、新陳代謝を活発にし、気分もすっきりさせてくれますが、しかし、高齢者では、脳卒中や溺死を起こしやすいとされていますので、以下の注意を守って下さい。

イ、脳卒中予防の入浴法

- ・脱衣場と浴室は、あらかじめ充分に暖めて。
- ・ぬるめの湯(39℃以下)に入る。
- ・半身浴。深い風呂で首までつ

かるのは危険。

- ・入浴時間は短めに。(20分位)
- ・風呂から出たら、スポーツ飲料で水分補給を。

・暴飲、暴食直後には、風呂に入らないこと。

ロ、溺死予防

入浴中に脳卒中が起こることがありますし、また、浴槽から急に立ち上がると脳貧血になって意識を失うこともあって、溺死する危険があります。

溺死予防のためには、お風呂にはお二人で仲よく一緒に入られるか、或いは、入浴中に度々声をかけてもらうようにしましょう。



森外科クリニック院長 森 澄

堇（すみれ）

「すみれの花咲く頃……」という歌は、宝塚歌劇団のテーマソングですが、そのすみれの開花は四月がピークです。まさに春を運んでくる代表的な山野花と言えるでしょう。

最近ではウォーキングが盛んになっていますので、きつと春の野原や山路で可憐な濃い紫色のすみれが、うつ向き加減に咲いているのを目にされることが多いと思います。

すみれは全世界では約五〇〇種位確認されており、日本でも六〇種位が分布していると云われますが、その変種・雑種などを含めると二〇〇種位になるそうです。まさに日本はすみれ王国とも言える程です。

その一部をご紹介します。“姫すみれ”。“西すみれ”。“岡すみれ”。“桜すみれ”などで切りがない程です。

すみれは10センチ程の茎の先に、丸い心臓形の鋸歯の葉が生え、その間から花の柄が出ます。壺すみれの花冠にある距という突出したものがガク片より短く袋状または壺のようになっています。ちょうど大工さんの「墨入れ」に似ているところからこの名前になったという説と、好んで摘み草にされるところから「摘まれる」「摘みれ」「すみれ」と変化したともいわれています。

我が国ではすみれは野草として自然の中で咲き誇っている姿が好まれています。古代ギリシャでは早くから人工的に栽培されていて、バラと共に大切な装飾品の花冠の材料として使われていたそうです。

観賞用の他に食用としては、ゆでておひたしや和え物にしたり、欧州ではシャーベットやそのままゼリーなどに封じ込めて食べるそうです。

莖程な小さき人に生まれし 漱石
すみれ摘むさみしき性を知られけり 鷹女

看護師さんシリーズ⑦

最近では政府の極端な医療費抑制方針によって、患者さんの自己負担は増大するばかりですが、病医院の経営も悪化の途を辿っています。加えて医療事故等の報道も相次ぐ中で医療に対する職業としての魅力が希薄になりつつあります。

看護師の業務については、3Kとか5Kなどと職業環境や条件の悪さばかりが前面に出されているため、看護師を希望して看護学校に受験しようとする人も、少子化の影響と相まって次第に減少しています。

厚生省はこんな現状にも拘わらず、需給調査ではほぼ充足しているとし、何らかの対策をしようとしていません。このままでは看護業務は益々過重になっていくばかりです。

日本の看護業務は、医師の指示の下に、独自性を発揮しにくい環境で育まれた歴史がありますが、今や看護師の医療の現場での影響力は全く違ってきています。

例えば訪問看護ステーションでは看護師が始めて管理者としてその全てを掌握する「長」になりました。病院内でも对患者との関係で看護師の役割は拡大しています。なかでも生活環境や治療に対する面で、患者が参加して方針を決めるようになって現在、看護師は患者の最も身近な存在としてその活躍と存在意義が大きく評価されつつあります。

あの看護師さんのお陰で苦しい治療が乗り越えられた」といった感謝の言葉が聞けるようになる筈です。看護師さん、あなた達は他の職業では得られない「喜び」と「感動」を得られる職業です。この仕事を天職と考えて、誇りを持って続けてください。

「Dr. 森のちよっとひと言」はこの号で終了させていただきます。長い間拙い文をお読み頂きましたことを感謝します。

森外科クリニック 院長 森 澄



インド福祉村協会だより

インド福祉村協会は、民族、宗教を越えて日本とインドの両国民が共通の価値観を共有し、互いに学び合うことを理念として、インド国の医療に恵まれない人々に対して、プライマリ・ヘルスケアを中心とする地域医療活動と生活改善を通じての公衆衛生活動及び不就学児童らに対する教育推進のための援助を目的に活動しています。

■認定NPO法人に

再度認定されました

2005年1月21日、国税庁長官より、租税特別措置法第66条の1の2第3項に規定する「認定特定非営利活動法人」であると認定されました。その当時、名古屋国税局管内では初となる認定団体でした。そしてこの度、認定NPO法人として再び認定を受けることができました。認定期間は2007年2月1日から2009年1月31日までの2年間です。

今回再認定されたことで、前回と同様に皆様からの寄附金が、制度に基づき減免されることとなりました。

全国でも現在認定NPO法人は、約50程しかありません。今後ますます責任は重なりますが、インド国の医療のさらなる充実をめざしたいと思えます。今後ともよろしくお願いたします。

■グプタ先生からの手紙

尊敬する 山本先生へ

私は先生とご家族の皆様のご健康を神にお祈りしております。

私と家族も健康に過ごしております。良い知らせがあります。2006年10月6日に男の子に恵まれました。早産で未熟児でしたが現在は元気に育っております。

尊敬する山本先生、私にゴラクプールに住居を用意して下さり心から感謝しております。来秋転居させて頂きたいと思っております。

いつか先生にお会いすることを楽しみにしております。

ありがとうございます。

Dr.Gupta 2007.1.1



▲地域のみなさんに衛生教育をするグプタ院長

■アーナンダ病院を訪れて

藤川保健衛生大学

看護専門学校2年 奈良 遙

私は、今回ボランティアとして2007年1月1日から1月4日までクシナガラ・アーナンダ病院に滞在しました。クシナガラは、冬のシーズンでもとても寒く、朝晩は濃い霧のため辺り数メートル先の景色さえも見えないほどでした。

病院では、グプタ先生から院内の紹介をしていただいたり、診察の見

学などをさせていただきました。私が参加した初日は、1月1日の祝日の後ということで患者さんは早朝から途切れなく訪れていました。診察中、先生は病名や病態についての説明をしてくださったり、聴診や触診に参加させていただき、とても丁寧な指導していただきました。感謝と同時に、仕事を増やしてしまっただようで少し申し訳ない気持ちです。

疾患の種類も本当に多種多様で、扁桃炎や高血圧症からフィラリアなど全身のあらゆる部位にわたり、とても幅広かったです。冬のシーズンでは、気管支喘息が原因で来院される患者さんが多く、初日だけでも5人程を数えました。

将来こういった現場で役立てるよう、日本でまた勉強に励みたいですが、こういう気持ちを持てたことは、やはり実際の現場を見て触れるチャンスがあったからだと思います。今回、この機会を与えてくださったことに心から感謝いたします。

さわらび会のネットワークを活かした利用者支援

身体障害者療護施設 珠藻荘

以前、珠藻荘を利用されていた方で、現在は介護補助として実習を行っている方がみえます。彼女は18歳で発症し、地元の病院へ入院しました。病状は落ち着きましたが意識は回復せず、重度の後遺症が残る事が懸念され、娘の将来を不安に感じたご両親が「たまたま障害者生活支援センター」に相談にいられました。主治医の紹介もあって、福祉村病院へ転院することになりました。

医療機関の連携と治療

福祉村病院ではリハビリを中心とした治療がスタートし、意識回復、経管栄養から経口摂取、そして不安定ながらも歩行可能となるまでに回復しました。そして治療としてのリハビリから生活リハビリへの考えから珠藻荘へ入所されました。

医療から福祉

受け入れに当たり、珠藻荘では高次脳機能障害のある彼女への支援方法の職員研修や、日々変化する本人の状態に合わせたマニュアル作り、更に将来を考えさわらび会のヘルパー養成研修の受講等の支援を行いました。その結果、彼女のがんばりやご家族の支援もあり14ヶ月という短い期間で次の段階へとステップアップすることができました。劇的な回復といえるでしょう。

施設から家庭復帰

次の目標は在宅復帰でした。名古屋にあるリハビリ施設へ入所し、生活訓練を中心とした訓練に取り組み、一年半で目標としていた在宅復帰を果たすことができました。

自分のできることで

人の役に立ちたい

夢のひとつであった在宅に戻ってからは「誰かの役に立ちたい」「珠藻荘の利用者の役に立ちたい、恩返しをしたい」という気持ちが強くなり、得意のピアノ演奏を活かした音楽活動、レクリエーション活動のボランティアとして毎日珠藻荘に來荘するようになりました。

珠藻荘の元利用者が障害を乗り越え誰かの為に毎日働く姿は、珠藻荘で生活している方々にとって大きな目標であり、希望となっています。

現在彼女は介護補助という形で利用者として接しています。利用者との接し方は非常に丁寧で、我々職員も彼女に学ぶ点が多くあります。そして何よりも利用者から深く信頼され必要とされる存在となっており、彼女のさらなる活躍が期待されています。障害者自立支援法には、施設から地域へといった考えがありますが、多くの課題もありあまり進んでい

ないのが現状です。今回のケースは、さわらび会の特徴を活かし、医療と福祉の連携がしっかりと形になって、支援できたケースと言えます。今後も珠藻荘、そしてさわらび会全体で彼女のみならず、高齢者、障害者の幸せを作り出す支援を行ってゆきます。

「これからもがんばります!!」 ご本人のコメント

珠藻に通い始めてから、毎日充実した生活が送れるようになりました。今、仕事をしていてます朝、着いた時からみなさんに「おはよう」と声をかけてもらい、「さあ、今日も一日がんばろう!」と、一日のスタートをきれます。最初のうちは、職員さんのお手伝いから始まったのが、職員さん何回も話をして自分一人で動けるように作ってもらった手順書を見ながら、できるようになり仕事が増えてきたので、もっといろんな事に挑戦していこうと思います。

(Y・I)

「みんなの力でみんなの幸せを」 実現するために

—さわらび会の
新しい取り組み—



さわらび会では、毎年一回理事長への要望書を全職員が提出することになっていきます。要望の内容は様々ですが、それらの意見をもとに、様々な改善が行われます。利用者・職員の声が、さわらび会全体の改善へとつながり、さらには地域の皆さんの役に立てればと思います。

●さわらび会 在宅医療福祉部の創設

2006年は介護保険法改正、障害者自立支援法施行と大きな変化がありました。また、医療法の改正もあり2011年には、療養病床の再編がなされることも決定しています。ますます在宅中心の医療・福祉への路線が強くなっているところです。

さわらび会は、医療・福祉の充実をめざしてきましたが、今回、さらに在宅医療福祉部を創設することで、医療、看護、介護が連携を持ち、絶えず不安を抱え生活している在宅の皆さんが安心して過ごすことができるようにしてゆきたいと思えます。

●さわらび会障害者担当会議

さわらび会の施設及び地域で生活する障害者やその家族が、安心して生活できる環境を整備すると共に、日々変化する身体状況や個々のニーズに応じ、本人の望む生活を送れるように、さわらび会の障害者関係施設が連携し、支援してゆくために担当者の会議を定期的に開催してゆきます。また、困難事例については随時この会議を行い、いち早く対応できるようにしてゆきます。

●さわらび会高齢者担当会議

さわらび会の高齢者関係各事業所間で随時情報交換を行うだけでなく、法律等の改正による問題点など的確に対応してゆきます。また、各事業所間での困難事例に対して、いち早く援助が出来るように連絡調整をするなど総合的に意見交換し、調整することで、利用者の皆さんがその人らしい生活を送ることが出来る環境を選択できるようにしてゆきます。



在宅医療福祉部
担当 村田 智
さわらび荘施設長



障害者担当会議
担当 田中 力
珠藻荘副施設長

高齢者担当会議
担当 長坂 敏幸
第2さわらび荘相談員



▲第一回さわらび会在宅医療福祉部担当者会議(2007.2.2)

● 福祉村ボランティアセンターの設置

さわらび会は、常日頃より多くのボランティアの皆さんに支えられ今日まで無事にやってくることが出来ました。今回、福祉村でのボランティア活動の総合的な受け入れの窓口として「福祉村ボランティアセンター」を開設し、対外的な活動の受け入れを一本化してゆきます。

【主たる活動】

- ① 福祉村内でのボランティア活動希望者の受け入れと案内。(ボランティア活動コーディネート)
- ② ボランティア活動上のトラブル解決。
- ③ 災害時の支援ボランティア受け入れ体制整備。
- ④ ボランティア交流会・講習会等の開催。

福祉村でのボランティア活動をご希望の方は是非ご一報ください。福祉村は皆さんの活動をお待ちしております。

連絡先

福祉村ボランティアセンター
豊橋市野依町字山中1-9-12
知的障害者授産施設説明日香内
☎(05362)46-6579
FAX(05362)48-2300

▼ボランティアグループさなえ会さんの協力により開催される障害者料理教室



▲若菜荘での太極拳指導
ボランティア鳥居美保子先生

● きれいな福祉村をめざして

福祉村クリーン運動は、一昨年から「みんなできれいな福祉村」を合言葉に毎月1回活動日を定めて実施してきました。この活動は、職員だけでなくとどまらず福祉村で暮らす高齢者や障害者の皆さんにも積極的に参加していただき、福祉村内のゴミ拾いや草花の手入れなど、楽しみながら活動してきました。また、若菜荘の自治会では、地域の神社清掃なども手がけてきました。

今年に入ってからは一「福祉村内だけでなく、福祉村の周辺(公道沿いなど)の清掃活動も行い、地域の皆さんのお役に立てる地域活動を行っていきましょう。」との声が多く寄せられ、福祉村周辺地域のゴミ拾い活動に発展しています。福祉村クリーン活動は、さわらび会全体の取り組みへと広がりをみせ、浪ノ上町にあるさわらび荘周辺などでも実施する予定になっています。また、花や木を植えて花と緑の溢れる福祉村をめ

ざしています。

安全で住みやすい環境をめざし、自然を大切にすする心を培いながらクリーン運動を続けてゆきたいと思っております。



●大規模地震災害に備えて

私たちは、阪神淡路大震災や新潟県中越地震での入浴ボランティアなどの経験を活かし、東海・東南海地震を想定した取り組みを行ってきました。その取り組みのひとつとして、一年ごとに在宅の利用者の方を対象に、「さわらび会」の施設を避難所として利用したいかどうか、移動方法などの希望調査を実施してきました。現在三回日の調査を行っています。それらの結果に基づいて、震災時に一般の避難所での生活が困難な、高齢者や障害者といった災害弱者の方々の受け入れのための寝具や食糧などの備蓄の見直しを行っています。今後はさらに行政との協力関係を明確にしながら、緊急時に備えてゆきたいと思っています。調査の中で施設への避難希望者が毎回増えており、そのための備蓄の補充も含めて、備蓄倉庫の設置も急務となってきました。その準備も行っていきます。また、社会福祉協議会との連携、ボランティア

アの受け入れも準備中です。行政や地域の人々との連携など、いつ訪れるかわからない震災への備えを急務な課題として、真剣に取り組んでいます。

各施設に設置してある防災倉庫



倉庫の中には、水や非常食、毛布、シュラフ、簡易エアーマットなどが備えられています。

●さわらび大学出前出張講座

さわらび会は、地域の医療・福祉の向上をめざし様々な取り組みをしています。その一環として平成10年から、地元の老人クラブの皆様を対象に健康教室を校区市民館で開催

しています。また、昨年4月からは、地域の皆様の一生の幸せと健康を守ってゆくことと、それを支える私たちの資質向上を目的に「さわらび大学」を開講してきました。さわらび大学では、福祉村病院の医師や施設の職員などが講師となり、職員はもとより広く地域の皆様に参加を呼びかけ最新の医療・福祉の知識や情報などを分かりやすく説明・解説し、参加した皆様が知識を広め健康の維持・増進に繋がるよう努めてきました。

今回、ご希望があればこのような講座をこちらから出向いて行う出張講座を原則無料で実施しようという計画しています。講座内容は、皆様のご要望に応じてテーマを決めて実施してゆきたいと思っています。また、1995年以来障害者理解の活動の一環として、小中学校を中心にごちらから出向いて行って実施している「福祉村キャラバン隊」もお気軽にお声を掛けていただければと思います。ご連絡お待ちしております。

問い合わせ先

- さわらび大学 若菜荘
☎(0532) 48-1138 担当 武田
- 出前出張講座 福祉村病院
☎(0532) 46-7511 担当 園田
- 福祉村キャラバン隊 珠藻荘
☎(0532) 47-1050



▲地域で行われている健康教室

介護保険や自立支援法など、高齢者や障害者に対する法律もめまぐるしく変化しています。私たちは、世の中の変化を常に見極め、利用者や地域の皆さんと共に、安心して生活できる環境作りをしてゆくつもりです。

(編集スタッフ)

positive sakon

ポジティブ左近



山本左近

F1復帰に向け アクセル全開!!!

今季スーパーアグリF1チームに籍を置きながら、GP2のBCNコンペティションから参戦することが決まっている左近選手。チームの本拠地のあるスペインに合流するため、発表から2週間足らずの慌しいスケジュールで現地へ旅立って行った。

すでにGP2への参戦が決まっていたライバル達は昨年の10月から準備を進めているが、左近選手は、2月16日にマシンのシート合わせを済ませたばかり。2月21日からのポルリカール(フランス)での合同テストでぶっつけ本番の初走行となる。

傍から見ればものすごく不利な状況と思えることも左近選手は「去年からテストしている有カドライバが多いですからね。ディスプレイバンテージ(不利)は確かにあると思いますが」と言いながらも、「今までここ何年かを振り返っても、これだけ早く自分の1年間の体制が決まったことはなかったですから。むしろシーズンへの準備は早いぐらい。いい状態でヨーロッパへ向かえますよ」と不

GP2公式テスト予定

- 2/21・22
ポルリカール(フランス)
- 3/8・9
カタロニア(スペイン)
- 3/15・16
ポルリカール(フランス)
- 6/19・20
ポルリカール(フランス)

利な状況を意に介さず自信を覗かせている。

また、左近選手が加入するBCNコンペティションについて「過去2年の成績は振るわないけど、モチベーションがすごく高い。僕のF1経験をチームにフィードバックして、チーム力を高めようとしているようです。マシンのセットアップは合同テストで詰めることになるが、パッケージとしてはすごくいいバランスだと聞いている」と話し、テストでの初走行を楽しみにしている様子だ。

GP2はシャーシ(ダラーラ)もエンジン(ルノー)もタイヤ(ブリヂストン)もワンメイクとなっており、他チームともマシンの性能にそれほど差が出ない。そのため、ドラ



①宿泊先のホテルでくつろぐ左近選手 ②ホテルはまるでお城のよう
③メカニックといっしょに

写真：山本左近 official blog 垂音速の一滴より

<http://blog.moura.jp/faraway>

面しているアラブ首長国連邦（UAE）の首都であるアブダビで行われたF1フェスティバルに、スーパーアグリF1チームを代表し、アモンストレーション走行を行なった左近選手。このイベントはアブダビ市街のウォーターフロントに特設された4キロのストリートコースを使って行なわれ、各F1チームから集まったドライバーによる走行を会場に詰め掛けた約1万人の観衆が、この初めてのイベントを見守った。

左近選手はコースとなる市街地を下見したあと、10時半からのドライバーズパレードに参加。デモ走行を行なった左近選手は「アブダビを訪れたのは初めてでしたが、とてもきれいな街でした。たくさんの人たちがコースサイドに集まってきていたのもうれしかったですね。ここでレースが行なわれるのが楽しみです」と語った。また、アブダビでの2009年からのD1グランプリ開催も発表された。左近選手も再びこの地に戻ってくる決意をしたことでしょう。

イバリの実力がレースの結果に大きく左右してくる。まだ記憶に新しい、昨季のF1最終戦ブラジルGPでは、マシンの性能をもとめせず、ファステストラップでは7番手、そして一番難しいとされるセクター2でM・シューマツハーに次ぐ2番手のタイムを記録し、左近選手のドライバーとしての実力を見せつけた。そしてその実力はGP2の舞台でも存分に発揮されるはずだ。

F1復帰に向けて

「F1からGP2に降りてきたドライバーっていうのは、これまでにもいたかもしれない。でもそこから再びF1に戻ったドライバーはまだいないと思うんです。僕がその先頭に立ちたい。日本はもちろんだけどヨーロッパのF1関係者、メディアにも「やはり左近は違う、速いな」というのを印象づけたいんです」と

語った左近選手。GP2からF1復帰へと意欲を燃やしている。

「夢はみるものではなく、叶えるもの」と言い、幼い頃からの夢を実現させた彼だからこそ、再びF1復帰へのサクセスストーリーを実現させてくれるはずだ。

F1フェスティバルに参加

2月3日、アラビア半島の南東部にあり、ペルシア湾とオマーン湾に

施設長直筆の書で 季節感を



ジユゲム施設長
金井 芳之

つくしん坊

長寝してまぬ

春変化

芳之

世界的な気象異変でテレビのモーニングショーは話題が満載である。一番驚かされたのはワシントンDCの桜が一月に開花したことであろう。地上だけでなく地下でも大異変が起きている。つくしん坊も本来なら三月末ぐらいに見られるものであるが、既に一月の末に頭をもたげてしまった。長寝をしていると時流にとり残されてしまう始末である。啓蟄（けいちつ）という“季語”があるが、虫が冬眠から目覚め地上に這い出ることを意味するが、それは三月五日頃を指す。つくしん坊同様に虫も困惑しているであろう。地球温暖化で最早啓蟄も定義を改めなければならないかも・・・

さわらび日記

（1月19日～16日～18日）

■福祉村病院・ジユゲム
1月18日 横田先生によるC.P.C.理事長出席
豊橋市社会福祉協議会工休ケアマネー
ジャー研修会にて伊勢弘之副院長が「
認知症の理解と対応の仕方」について
講演

19日 名古屋市健康福祉所主催認知症うつ予防
教室にて伊勢弘之副院長が「認知症の
予防」について講演
坂本たすけありあき運動器分科委員会（理事
長出席）

23日 予防接種講習会（理事長出席）
名古屋山東区社会福祉協議会主催ケア
マネージャー研修会にて伊勢弘之副院
長が「認知症高齢者への対応の仕方」
について講演

26日 朝倉情報交流会「地震災害時要援者
支援について」（理事長出席）
名古屋社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

27日 志摩市地域支援事業の家族介護教室に
て伊勢弘之副院長が認知症について講
演

30日 豊橋市社会福祉協議会主催介護者教室
にて伊勢弘之副院長が「認知症の理解
と対応の仕方」について講演
「阿彌陀丸（丸）」河津市出席

2月1日 名古屋社会福祉協議会主催名古屋市中
区認知症介護実践者研修会にて伊勢弘
之副院長が「認知症の医学的理解」につ
いて講演
日進市主催認知症予防講演会にて伊勢
弘之副院長が「認知症の理解と予防」
について講演

7日 認知症介護実践者研修会
豊橋みなとニイオンスクラノ例会（理
事長出席）
ジユゲム幹事会

9日 横田先生によるC.P.C.理事長出席
名古屋山東区健康福祉所主催認知症予防につ
いての講演会にて伊勢弘之副院長が
「認知症の正しい理解と予防法」につ
いて講演

10日 認知症介護実践者研修会
豊橋みなとニイオンスクラノ例会（理
事長出席）
ジユゲム幹事会

13日 横田先生によるC.P.C.理事長出席
名古屋山東区健康福祉所主催認知症予防につ
いての講演会にて伊勢弘之副院長が
「認知症の正しい理解と予防法」につ
いて講演

15日 横田先生によるC.P.C.理事長出席
名古屋山東区健康福祉所主催認知症予防につ
いての講演会にて伊勢弘之副院長が
「認知症の正しい理解と予防法」につ
いて講演

18日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

■さわらび荘
1月16日 県老健協施設長（兼）施設長（名古屋）
はりはら消防調査
介護支援専門員研修交流会（白井・浅
見・黒山）つじが丘福祉センター
地域生活支援センター打ち合わせ・福
助健館に参る検診準備会（松ト・市

後商）
はりはら消防推進会議
泉グループホーム連絡協議会役員会
（施設長（名古屋）

24日 認知症介護実践者研修会
豊橋みなとニイオンスクラノ例会（理
事長出席）
ジユゲム幹事会

25日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

29日 全国老健協女性フォーラム（奈良・無
上・東京）30日
高輪者出立（兼）施設長（第一
さわらび荘）

30日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

2月1日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

6日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

7日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

8日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

13日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

14日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

15日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

18日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

19日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

20日 豊橋市社会福祉協議会主催ヘルパー
研修会にて伊勢弘之副院長が「認知症
の理解と対応」について講演

■第二さわらび荘・カサデローザ
1月16日 全国介護政治連盟役員会（山本純成
東京）

18日 認定審査会（長坂敏 市役所）
19日 ノロアー長（兼）

20日 ケルマネ専門研修（黒田 名古屋）
21日 ケルマネ専門研修（黒田 名古屋）

22日 高齢者虐待防止ネットワーク（山本純
成 市役所）
ケルマネ専門研修（長坂敏 名古屋）
23日

26日 信教公開説明会
女性フォーラム（山本純成 山内・
野崎 東京）30日
全国介護政治連盟正副会長会（山本純
成 東京）

2月1日 介護給付費審査会（山本純成 名古屋）
2日 河部香武老人ホーム施設長（兼）（山
本純成 豊橋）

3日 ケルマネ専門研修（長坂敏 名古屋）
6日 県老健協役員会（兼）（山本純成 豊
橋）
7日 豊橋市社会福祉協議会（副）施設長（東
豊橋）

第1回朝食情報交換会 開かれる

1月26日、福祉村サービスセンターにて「第一回朝食情報交換会」が開かれました。

これは豊橋市議会議員と福祉現場の情報交換を目的として行われるもので、第一回目の今回は、

豊橋市議会議員 根本幸典氏
さとう多一氏
沢田都史子氏

が出席され、さわらび会からは山本孝之理事長、山本ゆかり専務理事他各施設長が出席しました。今回のテーマは「地震災害時における要援護者の支援」ということで、さわらび会が行った最新の要援護者アンケートをもとに、地震災害時の支援のあり方について、活発な意見交換がなされました。



長寿医学研究所だより

Vol.42

セミナー報告

福祉村病院長寿医学研究所
副所長 赤津裕康

1月24日、鳥取医療センターの小西吉裕先生による「Sun Health Research Instituteの献脳に基づくブレインバンクと細胞培養」についての講演が行われました。

小西先生はヒトの脳組織の培養については日本では第一人者であり、アメリカのSun Cityで研究をされていらっしゃいました。堀映所長と鳥取医療センターで一緒に働かれており、赤津裕康副所長と以前より協同研究をされていたことから今回のセミナーが実現しました。

講演ではSun CityとSun Health Research Institute、及びbrain bankの紹介、それを用いた研究の紹介、剖検脳からの細胞培養についてお話しいただきました。

将来的には、ヒトの脳組織の培養について、当研究所でご指導いただける予定だそうです。



- | | | | | | | | |
|---|---|--|---|---|---|--|---|
| <p>■あかね荘</p> <p>1月17日 地域支援会議</p> <p>19日 福祉行政委員会(施設長 東原)</p> <p>22日 グループホーム会議</p> <p>26日 福祉協会の研修者同士の施設長 名古屋</p> | <p>■若葉荘</p> <p>1月16日 県老健協地設長会議(施設長 名古屋)</p> <p>29日 老健協女性フォーラム(富田 東京)</p> <p>30日 若葉会地設長会議</p> <p>2月1日 若葉会地設長会議</p> <p>6日 若葉会役員会</p> <p>8日 県老健協五役委員長会議(施設長 県社務)</p> <p>8日 全国高齢者ホーム協議会(後援会)議</p> <p>9日 若葉会(東京)</p> <p>13日 若葉会(福祉村公園)議</p> | <p>■珠蔭荘</p> <p>1月17日 成年後見制度説明会(田中 松井 家)</p> <p>19日 障がい者施設職員中級研修(高松 名古屋)</p> <p>22日 認知症身体障害者施設職員会議(施設長 名古屋)</p> <p>23日 夜間退院支援訓練</p> <p>23日 地域包括センター土曜地域ケア会議にて講演(松井 大清水地域福祉センター)</p> <p>24日 口治会役員会</p> <p>29日 全国老健協女性フォーラム(牧野 工業 東京)</p> <p>30日 障害者自立支援法新施設体系移行説明会(田中 愛知県庁)</p> <p>31日 若葉会(若葉会)研修</p> <p>2月1日 三重障害者住宅推進会議(松井 東京)</p> <p>2日 若葉会(名古屋)</p> <p>5日 三重県老健協職員研修会(木本ト 名古屋)</p> <p>6日 医療現場所に対する立ち入り検査自治会主催ラフォーレ大会</p> <p>7日 自治会</p> <p>14日 副安全連新管理事務所(河合 ライフポートとよはし)</p> | <p>■明白香</p> <p>1月16日 愛知県ヤルベセンター食品部会(施設長 名古屋)</p> <p>18日 家族会役員会</p> <p>18日 介護福祉調査会(施設長)</p> <p>19日 保健所監査</p> <p>22日 東ニヤルベ施設長会議</p> <p>22日 パスハイイク(〇ちで行)</p> <p>29日 家族会懇親会</p> <p>29日 女性フォーラム(藤井陽 東京)</p> <p>2月2日 全国へ長事務局長会議(施設長 東京)</p> <p>4日 東ニヤルベ合同研修会(ライノポート 白治会)</p> <p>9日 白治会</p> | <p>■しろがね</p> <p>1月18日 各なえ会おやつ会の奉仕</p> <p>22日 TTM合唱団による音楽教室</p> <p>25日 障害者ヘルパー研修(金田参加)</p> <p>2月5日 福祉公社審判申出監査</p> <p>6日 TFM合唱団による音楽教室</p> <p>6日 各なえ会おやつ会の奉仕</p> | <p>■各施設共通</p> <p>1月23日 福祉村クレーン運動</p> <p>緊急連絡網訓練</p> <p>2月2日 福祉情報交換会</p> <p>2月2日 さわらび会(福祉村)研修</p> <p>8日 米養士会議</p> <p>9日 施設職員会議</p> <p>13日 福祉村クレーン運動</p> | <p>■名古屋</p> <p>14日 愛知県事業者協議会(八木 名古屋)</p> <p>14日 全国老健協第33回大会(名古屋)</p> <p>15日 山本施設長(東京)</p> <p>15日 介護士研修(金子友 福祉)</p> <p>15日 認定審査会(三友 市役所)</p> | <p>■岐阜</p> <p>28日 障害のある人の地域支援を考える(施設長 トヨタキャッスル)</p> <p>29日 女性フォーラム(上村 東京)</p> <p>30日 知的障害者福祉協議会(施設長 トヨタキャッスル)</p> <p>31日 障害者自立支援(施設長)</p> <p>2月1日 上原班作業員活動</p> <p>2月2日 県庁会議</p> <p>日本知的障害者福祉協会全国地方会長会議(施設長 東京)</p> <p>愛知県知的障害者自立支援センター(名古屋)</p> <p>知的障害者福祉協会政策委員会(施設長)</p> <p>愛知県社会福祉協議会(施設長 名古屋)</p> <p>福祉行政協議会(施設長)</p> <p>地域支援協議会</p> |
|---|---|--|---|---|---|--|---|



福祉村病院副院長 伊莉弘之

第九回 流水岩と弥勒菩薩

第十二番焼山寺から車で一時間かけて降り第十三番大栗山（おおぐりさん）大日寺（だいにちじ）。ここから五ヶ所は徳島市内の寺が続く。家に帰ったような、ほっとした不思議な気分だった。大日寺から第十四番盛寿山（せいじゅさん）常楽寺（じょうらくじ）まで車で十分。この寺の参道や石段は岩肌の岩石がごつごつしている。



境内には奇妙な岩肌をみせる「流水岩」がある。この流水岩の上を歩いて参拝するのだが、母は転びそうになり、娘たちは楽しそうにはしゃいでいた。

四国霊場の札所の中で常楽寺は弥勒菩薩を本尊としている唯一の寺。ある仏教経典では、五十三億年後に現世が減びる時、弥勒菩薩が現れて衆生を救ってくれると書かれている。天文学的には、五十三億年後に太陽が巨大化して爆発し、太陽系が消滅すると予測されている。なぜ五十三億年後という数字がびたりと一致しているのか。不思議としか言いようがない。しかし、あまりにも偶然である。なにかカラクリがあるはず。「時空を越えて旅したタイムトラベラーがいたんだ」と私。娘たちは縦に、母は横に首を振った。



よりよい地域支援をめざして

あかね荘障害者生活支援センター

昨年10月より、あかね荘障害者生活支援センターは新たに精神保健福祉士を配置し、知的障害者の方に加えて精神障害者の方への支援を行っています。それに伴い、今後の精神障害者の地域支援について他機関の方々と共に考える機会として、2月25日、可知病院部長の中住正紀氏（精神保健福祉士）を講師にお招きし、精神障害者の地域支援に関する連絡会を開催させていただきました。当日は市内だけでなく周辺地域からも多数ご参加を頂き、交流を深めました。この連絡会で得た知識、交流を今後の支援に活かしていきたいよう努めていきます。

また、知的障害、精神障害など判断能力の不分な方々の社会生活を支援する成年後見制度についての研修も行われました。裁判所が定めた後見人により、悪徳商法などの被害から財産を守ることも出来ます。手続きや費用のことなど、何でもご相談下さい。



◆連絡先

あかね荘障害者生活支援センター

0532-3819090（相談無料）

お悔やみ 申し上げます

さわらび会理事として、平成8年5月から14年3月、16年5月から現在の間、会の運営にご尽力くださいました青山英夫様が、2月5日午後7時59分80歳で永眠されました。ここに生前のご厚誼を深く感謝すると共に、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



さわらび大学

3・4月講座予定

参加費無料で、どなたでも受講できます

■3月8日(木)「発熱から見えるもの。誤嚥にご縁あり」
福祉村病院 院長 小橋 修

■3月22日(木)「医療ケアホーム」について
知的障害者更生施設あかね荘 施設長 安形健郎
(愛知県知的障害者福祉協会会長)

■4月12日(木)「認知症の介護」
福祉村病院 副院長 伊藤弘之

■4月26日(木)
「障害者自立支援法移行について」
福祉村障害者リーベス事業所 しろがね 施設長 石黒 稔

※さわらび大学は、3月より第2・4木曜日の開催となります。時間は15:00~16:00。会場は福祉村病院会議室です。尚、都合により日程及び講座が変更となることもございますのでご了承ください。

お問い合わせ・受講申し込み

軽費老人ホーム若菜荘

TEL0532-48-1138 FAX0532-48-2365

さわらび会後援会 寄附ご芳名

- (H19・1・15より2・14)
- 一、市内植田町中屋敷九 石田武氏 参萬円
 - 一、市内牧野町九〇 小松ウメ氏 伍千円
 - 一、新城市南畑七四 光田屋惣 貳萬円
 - 一、名古屋東区西又兵衛町三丁目一三三 ハヤシリハビリ様 壹萬円
 - 一、市内東雲町四七 梅村敏夫氏 壹萬六千円
 - 一、市内大清水町字宮土見八〇四一 藤松谷建設 壹萬円
 - 一、市内小池町三六一 共和印刷様 伍千円
 - 一、市内高塚町神田六八 田京敏明氏 伍千円
 - 一、市内中岩田三丁目一三 白井良治氏 壹千円
 - 一、豊川市正岡町胡麻田七三三 傑マルスホームデザイン 伍千円
 - 一、市内弥生町西豊和九一九 林 昭氏 壹萬円
 - 一、市内菅町三〇 藤中野新松商店 壹萬円
 - 一、市内瓜郷町前川五〇一 鈴木弘生氏 壹萬円
 - 一、市内間屋町 五一五 徳ススケン 壹萬円
 - 一、市内東田町 五四 濱竹田商店 壹萬円
 - 一、市内東新町三二四 藤日医工新和 壹萬円

- 一、市内飯村北二丁目二六一一六 尚滝川器械店 壹萬円
 - 一、市内東陽三丁目一七 森田由利子氏 壹萬円
 - 一、市内白河町一〇〇 中部ガス様 壹萬円
 - 一、市内神野埠頭町 神野臨海様 壹萬円
 - 一、市内野依町山中一九一四 福祉村病院職員有志 四千円
 - 一、匿名希望氏 壹萬円
 - 一、匿名希望氏 壹萬円
 - 一、匿名希望氏 壹萬円
- その他匿名希望多数の方より
ご寄附頂きました。
- 計 貳拾四萬壹千円
- 現在までにご寄附いただきました金額は
八億壹千参百貳拾壹萬 六千七百壹拾六円

インド福祉村協会 寄附ご芳名

- (H19・1・11より2・10)
- 一、名古屋市中区新栄一七七一三 東海労働金庫 八千九百円
 - 一、愛知郡長久手町五合池三〇七 田中泰賢氏 伍千円
 - 一、名古屋市北区西志賀町四一五四 長尾好奈氏 伍千円

お礼コーナー

ありがとうございました

※印は無印信意銀行を指して

- ▼青陵中学校様 夏みかん一箱 (さわらび荘)
- ▼酒井祝成様 布巾壹端※ (あかね荘)
- ▼花王株式会社様 洗剤・石鹸寄贈 (さわらび荘・第二さわらび荘)
- 珠蔭荘・若菜荘・あかね荘 明日香・しろがね

募金方法(インド福祉村)

■振込先
郵便振替・郵便振込
口座番号
〇〇八三〇一二一六五〇〇八
インド福祉村協会
〒481-1138 若菜荘
連絡先 軽費老人ホーム若菜荘
☎0532-48-1138

- 一、名古屋市長久山花町五〇 医療法人 生寿会 伍萬円
 - 一、静岡県浜松市右玉台四丁目 六八八 田中美羽氏 参千円
 - 一、名古屋市中区東大宮根町 五二五 河村和子氏 壹千円
 - 一、長野県長野市平林二丁目六一二 降旗伸子氏 伍千円
 - 一、福島県福島市藻葉町七一三二八 木村百合子氏 伍千円
- 計 八萬貳千九百円

ひなまつり



●陶芸:あかね荘共同作品 ●絵画:(左)手塚吉一(あかね荘) (右)杉木滋弘(あかね荘)

みんなの力でみんなの幸せ

2007年3月1日発行 早版 第407号

(昭和82年2月21日第三種郵便物認可)

充実した医療と福祉

- | | |
|--|---|
| ●特別養護老人ホーム さわらび荘
TEL (0532) 54-3501 | ●知的障害者授産施設 明日香
TEL (0532) 46-6579 |
| ●特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 | ●障害福祉サービス事業所 しるがね
TEL (0532) 48-1032 |
| ●ケアハウスカサ デ ローザ
TEL (0532) 37-1209 | ●福祉コンビニ(東区町)
TEL (0532) 69-5666 |
| ●経費老人ホーム 若葉荘
TEL (0532) 48-1138 | ●第二福祉コンビニ弥生
TEL (0532) 38-9090 |
| ●身体障害者療養施設 珠藻荘
TEL (0532) 47-1050 | ●さわらび会障害者居宅介護事業所 国原
TEL (0531) 24-0722 |
| ●知的障害者更生施設 あかね荘
TEL (0532) 48-2825 | ●福祉村老人保健施設 ジュゲム
TEL (0532) 46-7501 |
| ●福祉村病院
TEL (0532) 46-7511 | |



社会福祉法人 さわらび会
医療法人

編集責任者: 武田和敬 印刷: 共和印刷所 定価: 100円

■表紙作品: 森田りえ子模写「鳥の女」 カサ デ ローザ 古瀬てつ

編集後記

人が着用して手足の動きを助ける「ロボットスーツ」というものが実用化の段階に入ったと報じる新聞記事を目にした。これは筑波大学のベンチャー企業と大手住宅メーカーが提携し、高齢者の生活支援用などに、個人の生活補助や福祉施設のリハビリ用に開発したもので、今後いろいろなバリエーションに対応したロボットスーツを開発してゆくそうである。また、メーカーは月6万〜20万円でのレンタルや1体50万円程度での販売も目指しているという。医療や福祉の現場が大きく変化している現在、すでに決まっているフイリピンなどの外国人介護労働者による介護やロボットによる介護が主流になる時代が来るのだろうか?

(武田)